

平成20年4月1日

平成20年度 学校給食指導計画

茨城県立協和養護学校

保健部給食係

月	目 標	活 動 内 容		
		小 学 部	中 学 部	高 等 部
4	楽しく給食を食べよう	・新しい環境や給食の仕方に慣れ楽しい給食の雰囲気づくりをする。 (重) (社)	・新しい環境や給食の仕方に慣れ楽しい給食の雰囲気づくりをする。 (重) (社)	・新しい環境や給食の仕方に慣れ楽しい給食の雰囲気づくりをする。 (重) (社)
	給食の準備や片付けをきちんとしよう	・協力して片付けをする。 (社)	・効率的で清潔な準備や後片付けをする。 (社) (選)	・個人差に応じた分量を考えてきれいに盛り付けをする。 (健) (選) (社)
5	食事のマナーを身に付けよう	・箸や食器の扱いに慣れる。 (社)	・楽しく適切な速さで食べる。 (重) (社)	・周囲の人とコミュニケーションをとりながら、適切な速さで楽しく食べる。 (重) (社)
6	よくかんで食べよう	・口の中にたくさん入れすぎないで食べる。 (社)	・噛むことの大切さを知る。 (健)	・噛むことが、身体に与える影響について知る。 (健)
	衛生に気を付けよう	・食事の前に手洗いをする。 (健)	・手洗いの意味を知り、ていねいに手洗いをする。 (健) (選)	・細菌の恐ろしさを知り、食べ物や食器を衛生的に取り扱う。 (重) (健) (選)
7	暑さに負けない身体を作ろう	・暑さに負けない食品、旬の野菜を知る。 (健)	・牛乳の働きを理解し、進んで飲むとする。 (健) (選)	・夏の食べ物のとり方と健康の三原則を理解し実践する。 (健) (選)
9	生活のリズムを整えよう	・朝ご飯が大切なことを知り、食べる習慣を付ける。 (健)	・朝・昼・夕の3度の食事をきちんと食べることが大切なことを知る。 (健)	・食事の大切さを知り、自分の朝食を振り返る。 (重) (健)
10	好き嫌いをなく何でも食べよう	・色々なものを食べるのが大切であることを知る。 (健)	・赤黄緑の食品群とその働きを知る。 (健) (選)	・嫌いな物でも少しずつ食べようとする。 (健) (選)
	旬の食べ物を知り、味わおう	・秋に収穫されるものを知る。 (文)	・「旬」の食材を知る。 (文) (選)	・「旬」の食材やその食材を使った、その料理を知る。 (文) (選)
11	感謝して食べよう	・食べ物の大切さが分かる。 (重) (感)	・食事を作ってくれた人に感謝をする。 (感)	・食事ができるまでの人々の関わりに感謝をする。 (感)
12	食文化について知ろう	・正月料理や冬の食べ物を知る。 (文)	・米飯給食を通じて「米と食文化」のかかわりについて知る。 (文) (感)	・郷土食や行事食に関心をもち、その由来を知る。 (文)
1	丈夫な身体を作ろう	・毎日の献立には、色々なものが組み合わされていることを知る。 (選)	・組み合わせのよい食材が健康に良いことが分かる。 (健) (選)	・食材の組み合わせを考え、よい食べ方が健康に良いことを理解しバランスのとれた食事ができるようにする。 (健) (選)
	給食に感謝しよう	・給食の良さを知り、食べようと努力する。 (重) (健)	・給食の献立を理解する。 (重) (健) (選) (文)	・給食の献立を理解する。 (重) (健) (選) (文)
2	健康な食生活について考えよう	・健康のために、バランスよく食べることが分かる。 (重) (健)	・1日3度の食事をよく噛んで、きちんと食べることを大切にする。 (重) (健)	・給食は3つの食品群からバランスよく取り入れられていることを知り、良い食習慣を身に付けようとする。 (健) (選)
3	給食の反省をしよう	・みんな仲良く楽しい食事ができたか振り返る。 (重) (社)	・食事のマナーを守って楽しい食事ができたか反省する。 (重) (社) (選)	・食事が出来るまでに多くの人がかかわっていることを理解し、マナーを守って感謝しながら楽しい食事ができたか振り返る。 (重) (社) (感) (選)

○は、食に関する指導内容(6つの観点)を示す。

- 1 食の重要性
- 2 心身の健康
- 3 食品を選択する能力

(重)
(健)
(選)

- 4 感謝の心
- 5 社会性
- 6 食文化

(感)
(社)
(文)

肥満改善シート

平成19年度 茨城県立協和養護学校

小学部0年0組	A児
担任名	

目標
肥満を改善し、生活習慣病の予防とする。
(昨年度から継続して肥満指導にあたっている。)

初回教値	
年齢	身長
(男)	125.8 cm
女	25.0 kg
	初回体重
	35.5 kg
	肥満度
	41.8 %
	ウエスト周囲
	80 cm

児童生徒の特徴及び様子	担任	栄養教諭	養護教諭	家庭
<p>肥満</p> <p>医療機関での受診前は、給食配膳された中から一番多く見えるものをとろうとすることがあり、悪い通りにならないと食事中でも大声を出し食堂から飛び出しそうとすることがあった。</p> <p>食事のペースが遅くなる事が多い。味わって食べるといふより、そのときの気持ちに左右されている。1品食いもありやばり気持ちに左右されている。箸は持っているというだけで、食器に口をつけてかき込んで食べている。</p> <p>食事のマナーに気を付けながら、食品を交互に食べ、周りのペースを真で判断して食べるようになって欲しい。かき込み食いは、本児の実態から見て、好ましくない食べ方のように思えるので箸でつまんで口へ運ぶようになって欲しい。(7月時点の課題)</p> <p>処方薬服用時は、皿に口をつけてかき込んで食べることはなくなり、箸でつまんで食べるようになった。周りのペースを真ながら、おかず・ごはんを交互に食べることができるようになった。</p> <p>薬が薬味になり、薬の効き方などに変化があり生活自体も処方薬服用時と違いがある。一品食べ、皿に口をつけてかき込む、わざとペースを落として食べるなど逆行している感じがする。</p>	<p>学校生活の中で、できるだけ多く運動量の確保。</p> <p>給食時の指導は、基本的にはおかわり無しとし、また、ゆっくり良く噛んで食べるようにする。</p> <p>医療機関受診の結果を保護者・担任・養護教諭と共通理解を図る。</p> <p>保護者に担任を通して、栄養相談の追記(食事調査や運動の有無)を発送。</p> <p>7月 夏休みの食生活 & 体重チェックシート</p> <p>12月 冬休みの食生活 & 体重チェックシート</p> <p>児童は、動くことは好きで運動を意欲的に行えることができた。家庭でもスミミングに通い始めるなど、運動量の確保はできていると思う。</p>	<p>肥満度40%以上の児童生徒の保護者に対し、医療機関での受診を勧める。週1回(月)体重測定をし記録する。体重減少の時ははめる。腹囲測定の実施</p> <p>H19年5月 心臓検診において異常有り治療勧告</p> <p>身長体重測定(肥満度)の結果表を配付</p> <p>H19年8月 医療機関受診 服用している処方薬の副作用の対応について、保護者を通して質問する。</p> <p>結果 継続服用することになる。</p>	<p>昨年からの継続して、医療機関を受診している。精神安定のために薬を処方されている。</p> <p>H19年8月 医療機関受診 服用している処方薬の副作用の対応について、保護者を通して質問する。</p> <p>結果 継続服用することになる。</p>	<p>12月 冬休みの食生活 & 体重チェックシート</p> <p>12月から週1回スミミングスクールに通</p> <p>H20年1月 病院受診</p> <p>上室性期外収縮で指導区分Eで運動は可異常があるとき1ヶ月後受診 処方薬の変更 朝のみ12時間継続</p>
<p>1 学期</p> <p>夏休み</p>	<p>朝の運動では、目標を持って走るようにした。</p> <p>給食のおかわりはしない。</p> <p>食事のマナーについて指導を行った。</p>	<p>夏休み中の体重・食事・運動の記録を分析し、保護者に返信した。食事や運動、体重の管理を記録することにより意識づけがなされ、良い結果がでた。お便り返信</p>	<p>夏休み中の体重・食事・運動の記録を分析し、保護者に返信した。食事や運動、体重の管理を記録することにより意識づけがなされ、良い結果がでた。お便り返信</p>	<p>体重管理・食事調査(3日分)記入をする。</p> <p>体重管理・食事調査(2日分)記入をする。</p>
<p>2 学期</p> <p>冬休み</p>	<p>児童は、動くことは好きで運動を意欲的に行えることができた。家庭でもスミミングに通い始めるなど、運動量の確保はできていると思う。</p>	<p>3期：一緒に給食を食べる機会があり、担任が指導してきたことを踏まえ、ゆっくりと食べることや食器の持ち方などをわきまをわきで支援しながら給食をとった。話す言葉を良く理解している。</p>	<p>3期：一緒に給食を食べる機会があり、担任が指導してきたことを踏まえ、ゆっくりと食べることや食器の持ち方などをわきまをわきで支援しながら給食をとった。話す言葉を良く理解している。</p>	<p>12月 冬休みの食生活 & 体重チェックシート</p> <p>12月から週1回スミミングスクールに通</p> <p>H20年1月 病院受診</p> <p>上室性期外収縮で指導区分Eで運動は可異常があるとき1ヶ月後受診 処方薬の変更 朝のみ12時間継続</p>
<p>3 学期</p> <p>春休み</p>	<p>児童は、動くことは好きで運動を意欲的に行えることができた。家庭でもスミミングに通い始めるなど、運動量の確保はできていると思う。</p>	<p>3期：一緒に給食を食べる機会があり、担任が指導してきたことを踏まえ、ゆっくりと食べることや食器の持ち方などをわきまをわきで支援しながら給食をとった。話す言葉を良く理解している。</p>	<p>3期：一緒に給食を食べる機会があり、担任が指導してきたことを踏まえ、ゆっくりと食べることや食器の持ち方などをわきまをわきで支援しながら給食をとった。話す言葉を良く理解している。</p>	<p>12月 冬休みの食生活 & 体重チェックシート</p> <p>12月から週1回スミミングスクールに通</p> <p>H20年1月 病院受診</p> <p>上室性期外収縮で指導区分Eで運動は可異常があるとき1ヶ月後受診 処方薬の変更 朝のみ12時間継続</p>

成果と今後の課題
2年間継続して肥満指導に取り組み、よい結果が得られた。肥満度50%を超えてしまい医療機関の服薬の指示もあり、また保護者の努力、担任はじめ職員員の共通理解のもと連携を組んで行えたことがよかった。今後もこれを継続しつつ、昇っていきたい。